

教科 図画工作科		学年 第6学年	
題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
わたしのお気に入りの場所	4	知 気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。	これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。気持ちが伝わるように色使いや筆使いを工夫して表している。
		思 お気に入りの場所から表したいことを考えよう。	お気に入りの場所から感じたことを自分のイメージを大切にして、どのように主題を表すか考えている。
		学 お気に入りの場所をたのしく描こう。	お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表わそうとしている。
今の気持ちを形に	2	知 粘土の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	粘土をまわしていろいろな方向から見ることから、立体の動きやバランスを理解している。粘土の特徴を生かして、今の気持ちが表れるように表し方を工夫している。
		思 今の自分の気持ちを表す形を考えよう。	今の自分の気持ちをもとに、いろいろな方向から見ながらどのように表すか考えている。
		学 粘土の手触りを味わい、たのしく表そう。	粘土の手触りを味わい、主体的に自分の気持ちを表そうとしている。
いろいろ、いろいろ (形と色でショートチャレンジ)	2	知 材料や用具の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	いろいろな表し方を試すことから、形や色の動きやバランスなどを理解している。材料や用具の特徴を生かし、絵の具や筆ではできない表し方を工夫している。
		思 材料や用具から表すことを考えよう。	材料や用具の特徴をもとに、表し方をいろいろ試すことから表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。
		学 形や色の面白さをたのしもう。	形や色の面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。
木と金属でチャレンジ	6	知 材料の特徴を生かしたつくり方を工夫しよう。	異なる材料の組み合わせから生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方や表し方を工夫している。
		思 木と金属を組み合わせて表したいものを考えよう。	異なる材料の組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。
		学 作品を飾ってたのしもう。	異なる材料の組み合わせの面白さや美しさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。
入りの向こうには…	2	知 材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。	見なれた場所に新たな材料を組み合わせることを通して、動きや奥行きを理解している。身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。
		思 材料や場所の特徴を生かしてできることを考えよう。	材料や場所の特徴や組み合わせから発想し、「入り口」という言葉からイメージを広げながら活動したいことを考えている。
		学 力を合わせてたのしく活動しよう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的に学習に取り組もうとしている。
ゆらゆら、どきどき	4	知 バランスや動き方を工夫しよう。	針金を曲げたり揺れを指先で感じたりすることから、動きやバランスを理解している。針金の特性を生かし、揺れる仕組みをもとに表し方を工夫している。
		思 動きから表したいものを考えよう。	針金を曲げたり組み合わせたりすることから生まれる動きから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。
		学 動きのあるおもちゃづくりをたのしもう。	いろいろな動き方を味わい、主体的におもちゃづくりに取り組もうとしている。
カット、ペタッと、すてきな形	4	知 紙の切り方や重ね方を工夫しよう。	色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさなどを理解している。これまでの経験を生かしてはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。
		思 切った紙の形や色から何を表すか考えよう。	切ってきた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。
		学 切ったり重ねたりして、いろいろな表し方をたのしもう。	重ねた感じを味わいながら、主体的にいろいろな表し方に取り組もうとしている。
きらめき劇場	4	知 光と材料の組み合わせ方を工夫しよう。	LEDライトとさまざまな材料の組み合わせから、色の鮮やかさや奥行きを理解している。ライトや材料の特徴を生かしながら、その組み合わせ方を工夫している。
		思 光の効果を試しながら、表したいものを考えよう。	光の効果を試しながら自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。
		学 友達と協力して表すことをたのしもう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、表現の可能性を見つけていこうとしている。
		知 表したいことが伝わるように、描き方を工夫しよう。	絵の具やクレヨンなどを使って想像した場所を描くことによって、バランスや奥行きを理解している。表したいことが伝わるように、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら表し方を工夫している。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
時空をこえて	6	思 行きたい場所や時間から表したいことを考えよう。	行きたい時代や場所の具体的なイメージを想像することから、どのように表すかを考えている。
		学 友達や自分の表現を味わい、たのしもう。	想像を広げて描くことをたのしんだり、友達や自分の表現のよさを味わったりする活動に主体的に取り組もうとしている。
みんなのお話始まるよ	6	知 場面の様子が伝わるように形や色を工夫しよう。	連続した場面を描くことから、物語を表す形や色、動きやバランスを理解している。 絵の具やクレヨンなどの特徴を生かして、場面の様子が伝わるように形や色を工夫している。
		思 お話をつくり、どのように表すか考えよう。	お話をもとに自分のイメージをもちながら、どのように表すか考えている。
		学 友達と協力してつくり、伝えることをたのしもう。	互いのアイデアを生かしながら協力してつくり、絵を通してお話を伝えることをたのしもうとしている。
学校へようこそ	2	知 これまでに使った材料で、つくり方を工夫しよう。	これまで使った材料と場所を組み合わせて活動することを通して、造形的な奥行きや色の鮮やかさを理解している。 これまでの経験を生かし、材料や場所に働きかけることから表し方を工夫している。
		思 学校の場所を生かして、来る人をたのしませるアイデアを考えよう。	場所の形や特徴をもとに、来る人をどのようにたのしませるか考えている。
		学 友達と力を合わせて活動をたのしもう。	力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかける活動に主体的に取り組もうとしている。
龍を見る	2	知 龍や作品について知ろう。	作品のよさや表し方の違いを見つけることから、動きやバランスを理解している。
		思 作品の設置場所やその意味を考えよう。	作品の特徴からそれが置かれている場所や作品の意味を考えている。
		学 作品のよさを味わおう。	作品から気づいたことや話し合っただけで感じたことから作品のよさを主体的に味わおうとしている。
墨から生まれる世界	2	知 墨や紙の特徴を生かして表し方を工夫しよう。	黒と白の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。 墨や筆、紙の特徴を生かして表し方を工夫している。
		思 墨の濃さやできた形などから表したいことを考えよう。	墨の濃さや筆使いなどをいろいろと試すことから、表したいことを考えている。
		学 墨で描くことをたのしもう。	墨による表現のたのしさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。
ひびき合う形と色を求めて	4	知 スチレンボードの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	スチレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。 スチレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。
		思 版をつくったり、刷ったりしながら、表したいことを考えよう。	さまざまな方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。
		学 自分や友達の表現のよさや工夫を味わおう。	版による表現活動をたのしみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。
バランス・アンバランス	4	知 材料の特徴を生かして、表し方を工夫しよう。	断熱材を材料とした表現を通して、動きやバランスを理解している。 断熱材の特徴を生かし、糸のこぎりや木工やすりなどの用具を活用しながら形を変えたり組み合わせ方を試したり表し方を工夫している。
		思 材料の特徴から表したいことを考えよう。	断熱材の形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。
		学 削って形を変えることをたのしもう。	形を変えたり組み合わせでつくることのたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。
わたしはデザイナー 12さいの力で	6	知 材料の使い方やつくり方を工夫しよう。	板材の構成や仕組みから、バランスや奥行きを理解している。 これまでの経験を生かし、材料の使い方やつくり方を工夫している。
		思 使う場面を思い浮かべて入れ物を考えよう。	用途をもとにつくりたいもの発想し、どのようにつくるか考えている。
		学 生活の中で使える入れ物をたのしくつくろう。	生活の中で役立つものをつくることの喜びを味わい、豊かな生活を創造しようとしている。
		知 身近な材料の使い方を工夫しよう。	身近な材料を組み合わせることから、動きやバランスを理解している。 つくりたいものに合わせて材料を選んだり組み合わせたりしながら、つくり方を工夫している。

題材名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
夢の新製品	6	思 あったらいいと思う新製品を考えよう。	自分の願いから発想し、つくりたいものイメージをもちながらどのようにするか考えている。
		学 互いのアイデアや表し方、面白さを伝えよう。	互いの表現のよさや工夫を伝え、味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。